

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 309 号	氏名	渡海 大隆
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	宮崎 泰司	
	副 査	松山 俊文	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>学位論文題名 「Efficacy and limitation of bone marrow transplantation in the treatment of acute and subacute liver failure in rats」</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、末期肝不全に対する治療法の開発を目的として、骨髄細胞を用いた肝再生医療の有効性をラット実験モデルで検討したもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 確立した方法論に従って、ラット劇症肝炎モデル並びに亜急性肝障害(HIR)モデルを作製し、骨髄細胞移植実験を行った。特に後者では肝細胞分化マーカーである dipeptidyl peptidase IV (DPPIV) 陽性並びに陰性 F344 ラットを用いて移植細胞の肝内動態も検討した。骨髄細胞移植の有効性は、生存期間、血液生化学的検査及び肝組織に於ける組織化学的解析等により詳細に検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、HIR モデルでは有意な 150 日生存率の増大と DPPIV 陰性レシピエント肝組織においてドナー骨髄細胞由来の DPPIV 陽性細胞を認め、骨髄細胞の肝細胞分化と本移植治療の有効性を示した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は骨髄幹細胞を用いた肝再生医療研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			